

CAGLIERO 11

サレジオ会
宣教ニュース

N.105 - 2017年9月



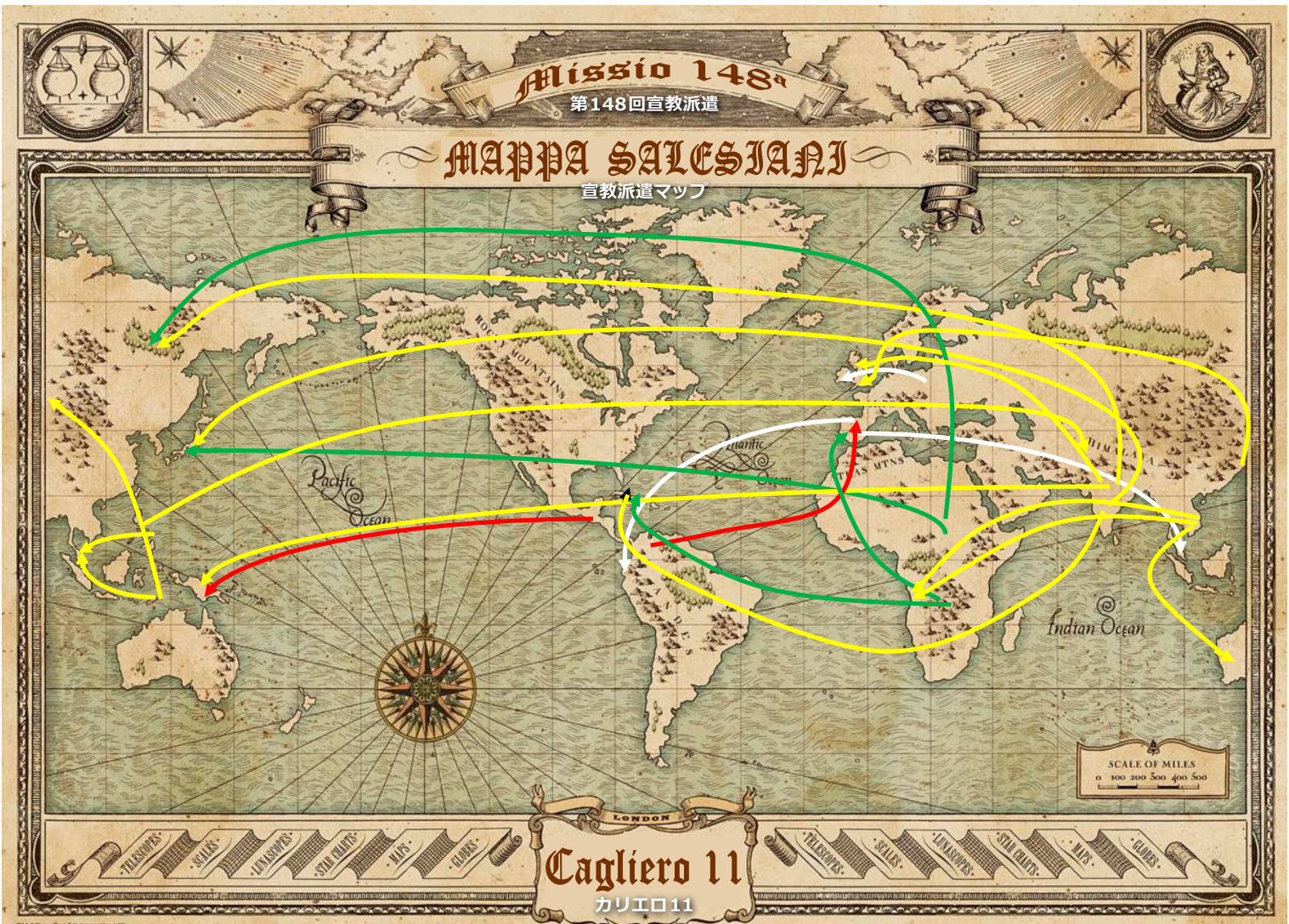
サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



9

月は宣教にまつわる重要な行事の月です。最も重要なのは、22人のサレジオ会員の宣教派遣です。宣教師たちは、モンゴル、パキスタン、パプアニューギニア、シベリア、日本、オーストラリア、英国、スペイン、アイルランド、エクアドル、アンティュー諸島、コンゴ民主共和国、マレーシアの新たな拠点へと派遣されます。3人がヨーロッパから、2人がアメリカ大陸から、4人がアフリカから、13人がアジアからの宣教師たちです。彼らはローマで、そしてサレジオ会ゆかりの地で養成を受けます。そして9月24日、FMAの宣教師と共に、扶助者聖マリア大聖堂から派遣されます。今月は、3か月にわたる宣教司牧の生涯養成コースも始まります。20名のサレジオ会員（アフリカからの宣教師5名、アメリカ大陸から14名、アジアから1名）が9月17日にサレジオの聖地の巡礼を始めます。その後、ほかの受講者と共に、ローマのサレジオ大学UPSで養成を続けます。彼らは宣教論、霊性、サレジオ霊性を新たにすることになります。このプログラムは聖地巡礼でしめくられます。

この私たちの兄弟会員、とても若い会員と経験豊かな会員は皆、新たにされた、知的な宣教の熱意を、会と教会にもたすでしょう。この世界と現代の若者に関わる新たな挑戦に取り組むため、キリストをもたすことを学んででしょう。このサレジオ会員たちのため、そして私たち皆のためにも、祈りましょう。私たちが、主の望まれるところどこでも聖霊の火をもたすことができるように。



新たな宣教師の出身地と派遣先

	氏名		出身管区	派遣先
1	Joseph ABUTO	神学生	ケニア(AFE)	日本(GIA)
2	Jeswin MASTAN	神学生	インド(INB)	日本(GIA)
3	Jorge CHORRO	修道士	エルサルバドル(CAM)	パプアニューギニア(PGS)
4	Jeevan LEWIS	神学生	インド(INP)	パプアニューギニア(PGS)
5	Jude MALIAKAL	神学生	インド(INK)	アンティュー諸島(ANT)
6	Jacque MASSA	神学生	コンゴ民主共和国(ACC)	アンティュー諸島(ANT)
7	Martin Paul PUSHPARAJ	神学生	インド(INK)	英国(GBR)
8	Anthony LEUNG	神学生	中国(CIN)	英国(GBR)
9	Peter Lai Vu Son LAM	神父	ベトナム(VIE)	コンゴ民主共和国(ACC)
10	Joseph Chu Nhat TAN	修道士	ベトナム(VIE)	コンゴ民主共和国(ACC)
11	Peter Nguyen Anh VU	神父	ベトナム(VIE)	オーストラリア(AUL)
12	Norbet MAMBA	神学生	コンゴ民主共和国(ACC)	スペイン(SMX)
13	Isrrael HERNÁNDEZ	神学生	ベネズエラ(VEN)	スペイン(SMX)
14	Emmanuel NIYOYITUNGIRA	神学生	ブルンジ(AGL)	ロシア-ヤクーツク(SLK)
15	Joseph RAYMOND	神学生	インド(INM)	ロシア-ヤクーツク(SLK)
16	Arkadiusz ORZECZOWSKI	神父	ポーランド(PLN)	アイルランド(IRL)
17	Mario DOS SANTOS	神父	東チモール(ITM)	モンゴル(VIE)
18	Manuel RUPÉREZ ARROYO	修道士	スペイン(SSM)	マレーシア(FIN)
19	Ramón BORJA	神父	フィリピン(FIN)	マレーシア(FIN)
20	Eugene MAGLASANG	神父	フィリピン(FIS)	パキスタン(FIS)
21	Joaquim FOLQUÉ	神父	スペイン(SMX)	エクアドル(ECU)
22	André BELO	神父	東チモール(ITM)	マレーシア(FIN)

サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエールイジ・カメローニ神父



福者殉教者ティトゥス・ゼマン(1915・1969)は、結婚を祝う言葉を従兄弟に書き送っています：「君のためにすべての良いこと、幸いを祈っています。神の恵みと祝福に伴われた幸せな結婚生活でありますように。私たちが造り、君が身をささげようと決めた婚姻の秘跡を含む神の秘跡を受けることができるように、キリスト者となる恵みをくださった神のみ旨を果たせますように。これからも君のために祈っています。新たな、祝福された、幸せな生活であるように。君のために祈りながら、私のためにも祈ってほしいと願います。ティトゥスより。」ティトゥス神父はその後に手描きで十字架のシンボルを描き、言葉を添えています。「苦しみ
の時、十字架に目を向けよ。心の痛みが和らげられるだろう。」



サレジオ会の宣教の意向

第148回宣教派遣のために

すべてのサレジオ会員が
ドン・ボスコの心にかたどられた宣教師となりますように。

ドン・ボスコ自身が1875年に最初の宣教師たちを送り出した、ヴァルドッコの扶助者聖マリア大聖堂に心向けながら、私たちは2017年の派遣メンバー一人ひとりのために祈ります。派遣されるサレジオ会員、サレジアン・シスターズ、信徒の文化、出身地域の多様性は年ごとに増えています。メンバーのほとんどは若く、世界各地から来て、世界中へと派遣されます。宣べ伝えよというイエスの負託は、毎年、この力強い実り豊かなしを通してドン・ボスコの家族のうちに具現化されているのです。

